

～旧横芝中学校跡地活用構想（案）～

（１）対象地の現況と課題の整理

平成 21 年 4 月に横芝中学校がふれあい坂田池公園北側へ移転し、旧横芝中学校跡地約 1.9 ヘクタールが遊休町有地として残されています。

また、横芝駅やショッピングモール、高速道路インターに程近い立地は、町内においても比較的好条件の住宅地域であり、閑静な住宅街が広がっています。

跡地の活用においては、まち・ひと・しごと創生等の政策動向に併せて、若い世代の定住移住の促進、雇用創出、企業誘致の推進を図ります。

「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における町有地の活用方針

基本目標 2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（３）若い世代に魅力のある住宅地づくり

①まとまりのある公共用地の再開発

民間を含めた地域の経営資源を活かし、新たな土地の価値を生み出しながら、駅、学校、ショッピングセンターに近い遊休公共用地を魅力ある住宅地として再開発し、若い世代の定住促進を図る。

重要業績評価指標(KPI)	基準値 (H26)	目標値 (H31)
世帯	なし	50世帯
企業誘致(再掲)	なし	新規1社

現況	課題	対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動の拠点を担った中学校の移転 ○1.9haの遊休町有地 ○駅やショッピングモール、IC近郊等、好条件の閑静な住宅地域 ○近隣住民の生活道路に利用 ○地域の歴史や思い出の保存 	<ul style="list-style-type: none"> ○若者の人口流出抑制 ○地元での雇用機会の補てんと雇用の創出 ○地域活動の拠点の補てん 	<ul style="list-style-type: none"> ①若者の人口流出を抑制する魅力ある住宅地の形成 ②新たな雇用を創出する企業等の誘致 ③地域の拠点となる緑地・公園・広場等の整備

（２）導入機能の概要

① 移住定住ゾーン ～若者の人口流出を抑制する魅力ある住宅地の形成～

「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、横芝光町へ新しい人の流れをつくることを目的として、町有地に新たな土地の価値を生み出しながら活用し、50世帯程度の定住移住世帯を獲得することを目標としています。

本対象地においても、「店舗付き住宅」、「農地付き住宅」や「子育て世帯向け住宅」など、民間企業等の柔軟な発想を取り入れた、若者世代に魅力ある住宅地の形成を図ります。



参考：店舗付き住宅イメージ
(民間ハウスメーカーサイトより引用)



参考：民間企業の提案する農地付き住宅（移住者向け）



参考：竹原市子育て世帯向け住宅

② 雇用創出ゾーン ～新たな雇用を創出する企業等の誘致～

若い世代の定住移住を促進するためには、併せて雇用を創出する仕組みが必要とされます。

本地域では、進行する高齢化への対応や若者世代の定住移住促進のために、地域に対して福祉医療サービス・子育て支援サービス等を提供する事業が求められていることから、関連企業の誘致を図ります。



例：東松山市子育て支援センター



例：老人福祉施設



例：サービス付き高齢者向け住宅

③ 緑地・公園ゾーン ～地域の拠点となる緑地・公園・広場等の整備～

学校施設は、教育施設であるとともに地域の生活拠点としての役割があります。横芝中学校の移転に伴い、喪失した地域の生活拠点を補てんするべく、跡地の活用においては、十分な緑地・公園・広場を形成して、地域コミュニティの醸成を図ります。



参考：緑地・広場のイメージ

（３）事業推進の流れ

跡地活用構想における事業推進の流れは、平成31年度末（平成32年3月末まで）を目安に進めるものとし、各整備の進捗状況に併せて、随時、見直しを図るものとします。

(4) 本町の現行計画を元にした活用イメージ (案)

注：以下の図に示すゾーンの配置や規模は、参考値を表現しています。決定事項ではありません。

